

大阪城

2022
3/3
(木)
1424/1
3

全港海
西成会
会云

2247
6647-
4947

3月に入り、春に向っている。花粉症の人は、オミクロンウイルスのマスク生活の中、大変だ。クマミヤや自界ズレズレやっていると、ウイルスと区別がむづかしいので、人が決まらずに状況だ。くまじも、地球自然はしっかり回っている。

人間社会は、時代を区切るような現象だ。戦後、世界はアメリカの主導的、世界的世界になり、80年近くになるが、それが終り、「ポスト・アメリカ」の新しい段階に入ったことを示してきている。

地殻がうねり、山が動き、島が沈み、火山が火をふく、エネルギーの木転換がおもっている。

政治の世界は、目には見えな、二つが多、ので、今までの延長上の世界での戦争だと見やすが、そうではなさそうに見える。ヨーロッパ、2正面だけでなく、イラン、イラク、シリア、アフガンをはじめ、中東アラブ、アフリカの領域も連綿とほじめることだろう。又、核し核まいる軍事面だけでなく、石油、天然ガスの値上り、ガソリン、電気代は高くなる。ロシア、ウクライナは、小麦、トウモロコシ、アミノ酸、北極海の魚、貝、木材など高くなり、日本経済もインフレ傾向に入っているように見えます。竹、例えば、80年ほどの流れに一つの節目とほ切りがつき、新しい芽の段階に入っていくエネルギーが未知の形を求めているように見えます。

世界を破滅に向かわせる戦争

誰もどめることができないのだからか？プーチンの暴走

ロシア軍がウクライナに進行して1週間。激烈な市街戦も展開して多大な犠牲者の山が双方につきあがっているようです。

泥沼状態に陥った戦闘状態がどこまで続くのか予断を許さない事態ですが、双方疑心暗鬼の状態なので、和平交渉もなかなか打開できるにはまだまだまだ紆余曲折がありそうです。世界の各方面でいろんな「戦争反対」の取り組みが行われているようですが、ロシア国内での「反戦」の取り組み、当局の弾圧の中で広がっているようで、なんか少し希望の光のような気がします。

大阪など10都府県まん延防止延長へ

政府は今月6日に期限を迎える31都道府県の「まん延防止等重点措置」のうち、少なくとも10都府県については延長する方向で調整に入りました。このうち、大阪の吉村知事は「3週間程度延長を要請したい」と表明しているほか、愛知の大村知事なども延長を要請する考えを示しています。

政府関係者によると「都市部の解除は難しい」との認識を示している。少なくとも首都圏1都3県や関西の3府県、東海3県については延長する方向で調整に入りました。

延長は2週間を軸に検討が進められています。

府は各自治体の意見を踏まえながら、今週後半にも関係閣僚会議を開催し、方針を決定する見通しです。